

雜 錄

文部省 幼稚園保姆の講習 主 催

七月二十二日より二十七日迄、東京女子高等師範學校に開催された本講習は、定員百五十名を超過して、二百九十名餘の多數。倉橋講師の「幼児性情ノ涵養」なる題目は、幼稚園がかなりの普及を遂げた今日 保育を一層深く見つめようとする者にとり非常な期待をかけられるものであつた。全講八時間、我々が何をねらふべきか、如何に態度すべきか、我々の向ふ所を教へられ、假りにも過り解さぬよう微細に心おいて説かれた。幼稚園ト小學校トノ聯絡問題ニツイテこれは亦幼稚園の實際問題として大いに研究を要するものであるが、小學校側との協働的研究に待つものであるから、堀講師に該問題につき指針をうかゞふことは

大いに意を強うし得る。

及川講師は、毎日の保育に、直接な製作材料を實習させられた。六日間、斯くして、熱心なる受講の模様であつた。

本協會 遊戲講習會 主 催

七月二十二日より二十六日迄四日間、東京女子高等師範學校講堂に開催。會員は二百二十餘名の盛會。前二日の戸倉講師は「唱歌遊戲」を、(本年度の新研究發表として、子供に親しい童話唱歌「花咲爺」「猿蟹合戦」があつた)後二日の三浦講師は「遊戲に體育的なのが必要だ、體操をさせられない幼児には、それが面白い遊びでなければならぬ」との見地から「子供のあそび」を。何れも多くの助手と共に熱心に、行き届いた指導をされる。會員も亦暑さを忘れてかはい、遊戲に没頭するかに見えた。

全國佛教保育大會狀況

佛教保育協會が創立せられて三ヶ年、その記念として、七月二十六日、二十七日の兩日、帝國教育會館内に第一回佛教保育大會が開かれた。出席者は全國にわたり、その數二百三十三名。次の日程の下に、有益な協議、決議がなされて、盛會裡に終つた。

日 程

第一日

(午前之部)

- 一、開會の辭
- 一、勅語奉讀
- 一、法の深山齊唱
- 一、經過報告
- 一、功績者表彰式
- イ、佛教保育事業功勞者調査報告

ロ、功勞者記念品贈呈

一、祝 辭

一、議 事

(午後之部)

一、議 事

第二日

(午前之部)

一、議 事

議 事 題

- 一、佛教保育の徹底を期する方法如何(協會提出)
 - 二、佛教保育の事業の普及方法如何(同)
 - 三、佛教保育事業従事者養成の方法如何(同)
 - 四、寺院經營の保育施設に於て特に留意すべき點如何(會員提出)
 - 五、各寺院に於て保育事業の施設を必要と認むるが、その促進方法如何(會員提出)
- 何れも委員附託となり、調査案によつて可決。

研究發表

一、おはなし並人形芝居の佛教保育についての

考察

中野高女附屬感應幼稚園 青柳節子

時間の都合により外未發表

決議文

一、吾我は佛陀の精神を休し佛教保育の徹底を期す

二、吾等は現下の狀勢に鑑み佛教保育の普及發表を期す

三、吾我佛教保育従事者の信念を涵養し人格並に

技術の向上を期す

右決議す

昭和六年七月二十七日

全國佛教保育大會

× × ×

東京市内公立幼稚園長招待

少し、報導後れになりましたが、近年幼稚園の進歩には目覺ましいものがあります、東京市に於ては、本年に到つて、一躍、十七幼稚園より三十三幼稚園となりました。このよろこばしい折にと、一夕、市内公立幼稚園長を上野靜養軒に招待申上げて歡談することに致しました。丁度六月十二日、入梅の日に適はしく、しめやかな雨が不忍池をかすめて居りました。

當夜御出席下さいました方は

岡崎常太郎氏(東京市視學)

津田 信雄氏(麴町區富士見幼稚園長)

田中 小市氏(日本橋第一小學校同幼稚園長)

石田 耕一氏(日本橋區濱町小學校幼稚園長)

奥山甚一郎氏(京橋區明正幼稚園長)

篠井 和衛氏(京橋區京華幼稚園長)

永島 巖氏(京橋區明石幼稚園長)

森田嘉一郎氏(京橋區月島幼稚園長)

栗原 岩藏氏(京橋町文海幼稚園長)

村野 喜十氏(京橋區昭和幼稚園長)

池田政太郎氏(芝區西櫻小學校附屬幼稚園長)

小向 きみ氏(本郷區第一幼稚園長)

近藤 乾氏(下谷區根岸小學校附屬幼稚園長)

安西國太郎氏(下谷區黒門小學校附屬幼稚園長)

松本十九二氏(下谷區竹町小學校附屬幼稚園長)

西島 精氏(深川區明治小學校附屬幼稚園長)

六時に食卓を開く。席上、倉橋主幹立つて、

「みなさんの御骨折によつて東京市公立幼稚園の新設の多くなつた事は誠によろこばしい。が併しまだ帝都の幼稚園として、決して多いとは言はれない。大阪市では五十四幼稚園ある。岡山市の如きは小學校十二校に全部附設せられて居る。その

割て行くと、東京市には百八十幾園かの公立が無ければ比例がとれない。何卒、諸君の御力によつて益々増設される事を切望する」と述べると、岡崎視學一同を代表されて、

「斯くも幼稚園が増設になつたのは、日本幼稚園協會のような有力な會が、年來斯界に御功献下さるたまもので、我々の方よりこそお禮申上げるべき所です」と答へられ、なほ「今後は、取り敢へず一園もない區に新設する様努力したい」と。

食後、うす煙る不忍池を見はるかす別室で歡談の間に、「幼稚園新設に至る經過苦心談」や「都市幼稚園の保育上の注意に關して」種々有益な意見の交換あり、特に富士見幼稚園長の津田氏からは夏期幼稚園に就て麴町區の昨年の經驗を報告され、今年の計畫を發表されました。一校一園を経営される方々の間には、却々意見がつかませませんが八時半惜しくも散會しました。